

IHミートパッカー株式会社（伊藤ハム米久ホールディングスグループ会社）

市・県とIHミートパッカー（株）は、令和4年2月25日に、同社が市内に新規事業所を開設するにあたり、従業員として地元出身者を優先的に雇用するなどの「事業所開設に係る基本協定書」を取り交わしました。

4月からは新工場「十和田ビーフプラント」が本格稼働し、市における新たな雇用創出の場として期待されています。

十和田ビーフプラント

所在地：十和田市大字相坂字六日町山155

牛のと畜および牛肉の処理加工・販売を行っています。
宮城県、埼玉県、愛知県にも工場があり、十和田ビーフプラントでは、従業員総数は約70人を予定しています。



企業の **声**

代表取締役 のりいけ ひでたか 乗池 秀隆 社長

新設した十和田ビーフプラントは、グループ最大規模の牛専用の処理・カット場です。「牛に優しく・人に優しく・環境に優しく」を施設コンセプトに、牛も人もストレスフリーな工場として、本格稼働しました。地元雇用も更に拡大し、地域の畜産振興・活性化に貢献し、市民の皆さまに末永く愛される会社・工場となるよう、従業員一同、業務に邁進します！

4回目の認証取得を目指し、歩み続けるセーフコミュニティ



問 まちづくり支援課 ☎51-6777

市では、「事故やけがは予防できる」という国際的な考え方にに基づき、平成21年に初めてセーフコミュニティの国際認証を取得して以来、継続して関係機関、市民団体などの協働による安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。本年は4回目となる認証取得を目指し、国際認証審査員を招き、現地審査を行います。

「～今日も無事でいてほしい～」を合言葉に、一緒に事故やけが予防に取り組み、安全・安心なまちを目指していきましょう。

※セーフコミュニティ…「事故やけがは予防できる」という考え方のもと、市民が安全で安心に暮らすことのできるまちを目指す国際認証制度です。



～取り組み事例～

市では、「交通事故予防」や「暴力・虐待予防」など8分野を重点課題とし、官民一体となった対策部会を設置し、課題解決に向けた取り組みを行っています。

● 交通事故予防対策部会

歩行中の死亡事故が多く、特に薄暮以降の時間帯で事故が多いことから、交通事故予防のため、イベント時などに反射材を配布し、カバンや被服への着用を呼びかけています。



▲ 反射材を配布している様子



▲ 配布した反射材

● 暴力・虐待予防対策部会

児童虐待や女性への暴力などを無くすため、シンボルマークであるオレンジリボン・パープルリボンの塗り絵を作成し、保育施設やイベントでの塗り絵体験を通じて、暴力・虐待の防止に取り組んでいます。



▲ 塗り絵体験コーナー

▼ その他の取り組みは、市ホームページをご覧ください。

